

【ボランティアについて】

同じ行動でも、心の持ち方次第ではカルマの付け替えが起こります。

5 例) 有志を募った清掃活動など

正しい心の持ち方 : ゴミを散らかす人々を、母親の溺愛^{できあい}で虐待された“可哀想な人”と思いながら行いましょう。

10 間違った心の持ち方: “仕方がないから”と嫌々で行ったり“綺麗^{きれい}にしてやった”と驕り高ぶ^{おご たか}った気持ちで行ったりすると、悪いカルマを付け替えられます。

正義感による援助活動などは、結果的に支援される方々を苦しめてしまう場合があります。

15 例) アフリカや東南アジアの貧しい村に、井戸を掘り、高額なエンジン式のポンプを支援をした場合などは、本当の支援にはなりません。

ポンプが壊れた時に自分達で直せなければ、元の状態に戻ってしまいますから、ただ水が出るようにするだけでは、貧しい地域の本当の支援にならないのです。

20 *1 高額なエンジン式のポンプを支援するのではなく、上総掘り^{かすさぼ}のような簡単な道具だけで誰でも井戸を掘れる技術支援をして自立出来るよう導いて、初めて救済した事になるのです。

*1 上総掘り^{かすさぼ}とは、やぐらを組む竹と、鉄管^{てつかん}を利用した井戸掘りの方式で、地面に掘った穴に土を軟らかくするための水を入れ、その穴の底に鉄管^{てつかん}を突き当てて掘り進む、掘り抜き井戸の工法の一つです。(詳しく知りたい方は、Netで調べて下さい。)

教育支援について

30 貧しい国の辺境の村に学校を建てて教育支援をすることは、結果的に自立を促すことになるので、『神』から見て喜ばれる支援です。

孤児院について

35 子供が育つためには、愛情が必要です。そのため、孤児達を愛情一杯に育て、自立できるように導くことは、『神』にお喜び^{いただ}戴けます。

40 弱い立場の人や、貧しい国で苦勞している方々というのは、そういう状況になるカルマを持っているのです。

そういう方々を本当の意味で助けるには、『神』の御心^{みこころ}に合った行動でなければ救えません。